

■新小岩駅周辺まちづくりプラン説明会（令和5年2月2日）及び意見募集等での主なご意見・ご質問等

No.	頁／項目	ご意見・ご質問	回答・対応方針
まちづくりプランとは			
1	P.1 目的	目的「①まちの経緯・取組を踏まえ、新たな時代にも対応する」の中で、アフターコロナ時代にも対応するものがあるが、区として、どのような変化が起こっていくことを想定しているのか。また、アフターコロナ時代への対応を掲げるのであれば、プランの前提条件として明記すべきではないのか。	<p>アフターコロナ時代については、三つの密（密閉・密集・密接）の回避、感染拡大防止と社会経済活動の両立といった変化を想定しており、そうした考えの下でまちづくりを進めていくべきであると考えております。</p> <p>また、プランの前提条件としては、目的「①まちの経緯・取組を踏まえ、新たな時代にも対応する」の中で記載をしており、併せてSDGsや新たな時代への対応という趣旨でも記載しておりますが、より明確にするために一部文章を修正いたしました。</p> <p>P.13 取組2-1の【多様なニーズに対応する都市機能の充実】での対応 <修正案>下線部を修正 ・駅周辺においては、居住者や来街者等の様々なニーズに対応した持続可能なまちを目指すため、商店街のにぎわいと調和を図りながら、商業・業務機能の他、スポーツを含む文化交流・公益施設などの多様な都市機能の誘導や多様な世代の居住に対応した質の高い住宅整備を進めます。</p>
2	P.1 目的	今後のまちづくりの視点から、スマートシティあるいはDXなどを盛り込んだ方が良いのではないかと。また、東京都ではユビキタスの実証実験でWi-Fiが設置され双方向で情報のやり取りができる実験も行っているため、今後のまちづくりの機能を充実させるとなれば、そういった点も入れた方が良いのではないかと。	<p>目的「①まちの経緯・取組を踏まえ、新たな時代にも対応する」で記載しているとおり、新たな時代にも対応するプランとして考えておりましたが、具体的な記載がなかったため、以下のとおり追記いたしました。</p> <p>P.1『1 まちづくりプランとは』目的①での対応 <修正案>下線部を追記 ・昨今、激甚化する災害や「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性ある社会を目指す「SDGs（持続可能な開発目標）」、アフターコロナ時代、DX[※]等への対応が求められていることから、本プランはこれまでの新小岩駅周辺のまちづくりを踏まえながら、このような新たな時代に対応するものとします。 <u>※DX（digital transformation）：まちづくりにおけるDXとは、基盤となるデータ整備やデジタル技術の活用を進め、まちづくりの在り方を変革することで都市における新たな価値創出又は課題解決を図ることを指します。</u></p> <p>P.14「取組2-4 快適で魅力的な住環境と景観の形成」での対応 <修正案>下線部を追記 ・暮らし方の変化やICT[※]等の新しい技術に対応した住まいづくりを誘導し、「住み続けたい」と思えるまちづくり、「住んでみたい」と思われる住環境の形成を推進します。 <u>※ICT（Information and Communication Technology）：情報通信技術のこと。</u></p>

No.	頁／項目	ご意見・ご質問	回答・対応方針
まちの成り立ちと現在の姿			
3	P. 4 データでみる 現在の姿	「データで見る現在の姿」で人口・世帯数を載せるのであれば、新小岩地域にいる外国の方の分析も必要ではないか。	新小岩地域の地域特性として、外国人の現状をP. 7『3 まちの現状と課題』に追記いたしました。 P. 7『3 まちの現状と課題』現状 ■地域のにぎわい等 での対応 <修正案>以下を追記 ・区内の外国人の約3割が新小岩地域に居住し、他の地域と比較しても最も多い地域となっている。
まちの現状と課題			
4	P. 7 現状	自転車についてもかなり課題があるので、その辺りの分析も必要ではないか。	自転車については、現状を追加する形で文章を修正いたしました。 P. 7『3 まちの現状と課題』現状 ■道路環境 での対応 <修正案>下線部を追記 ・ <u>新小岩駅前の自転車乗入れ台数は区内で最も多く、令和3年度時点で約7千台となっている。</u> また、 <u>自転車駐車場が多数立地しているものの、路上への放置自転車も多い。</u>
5	P. 8 課題	課題4の「地域の個性を生かした持続可能なまちづくり」の「地域の個性」とは何か。	新小岩の個性についてはP. 9「将来像」で少し触れておりますが、南北に広がる商店街、新小岩公園や西井堀せせらぎパークなどの水と緑が豊かな公園、まちなかで行われている様々なイベントや活動、そしてそこで活躍する人々やこのまちに住まう人、といった魅力的な資源が数多くあることと考えております。今後は、これらの資源を連携・活用し、区内外からも人々が訪れるような魅力的なまちづくりを進めていきたいと考えております。
まちの将来像と方針			
6	P. 10 方針	新小岩駅周辺まちづくりプランは内容が盛り沢山で、地域に住まうものとしては大変楽しみだが、障がいをお持ちの方と一般居住者の方とはまちづくりのニーズが大きく異なる。今回のプランの中にそういった記載が一切感じられないが、そのあたりの配慮を今後どのように考えているのか。	障がいの有無に関わらず、誰もが安全で快適に移動できる交通環境づくりは重要なことと認識しております。ご意見の主旨はP. 10「将来像を実現するための4つの方針」の『方針1だれもが安全で快適に移動できるウォーカブルなまち』に含めておりますが、より明確にするために一部文章を修正いたしました。 P. 12 取組1-3の【まちなかにおける回遊性の向上】での対応 <修正案>下線部を追記 ・ <u>新小岩駅周辺は交通結節点としての機能強化を推進し、車いすやベビーカー利用者等を含む全ての歩行者や自転車・自動車のそれぞれが安全で快適に移動できる交通環境を形成するため、駅前広場や道路の再整備等、歩行者ネットワークの充実など基盤整備の推進を図ります。</u>
7	P. 10 方針	『方針3 災害に強く、安心して暮らし続けることのできるまち』について、『強く』という表現が、災害を完全に防ぐという印象を受ける。文言の変更をして欲しい。	ご意見に対して、以下のとおり修正いたしました。 P. 10『方針3 災害に強く、安心して暮らし続けることのできるまち』での対応 <修正案>下線部を修正 『 <u>防災力を高め、安心して暮らし続けることのできるまち</u> 』

No.	頁／項目	ご意見・ご質問	回答・対応方針
方針 1 だれもが安全で快適に移動できるウォークアブルなまち			
8	P. 11 取組1-1	「北口地区内へ進入して来る自動車交通を抑制し、」と書かれているが、車両を除外するという印象を受ける。文言の変更をして欲しい。	ご意見に対して、以下のとおり修正いたしました。 P. 11 取組1-2の【北口駅前広場等の検討】での対応 <修正案>下線部を修正 ・北口地区内の車両と歩行者の安全性や利便性を確保するため、駅北口の西側に荷捌車や一般車が一時的に停車できる転回広場及び駐車場の検討を進めます。
9	P. 11 取組1-2	末広通りについて、「拡幅の検討」などと具体的に記載していないのはなぜか。駅南口への主要なアクセス路として、安全性向上のための拡幅が急務ではないか。	末広通りについては、歩行空間の課題があることを認識しております。頂いたご意見は、今後の取組に向けた参考とさせていただきます。
10	P. 11 取組1-2	バリアフリーの取組も入れてほしい。	今後の取組に向けた参考とさせていただきます。
11	P. 12 取組1-3	北口転回広場から北口駅前広場へのアクセスを検討してほしい。サミット前は車と人が交錯し危険。	ご指摘の箇所は、P. 12 取組1-3の【新小岩公園へのアクセスルートの検討】の対象となっております。ご意見も踏まえて検討を進めてまいります。
12	P. 12 取組1-3	【まちなかにおける回遊性の向上】に賛同する。	取組実現に努めてまいります。
13	P. 12 取組1-3	動く歩道の設置を検討してほしい。	
14	P. 12 取組1-3	JRの鉄道高架のかさあげを推進してもらいたい。南北間の移動を容易にすることで南北の一体化を図り、新小岩周辺の将来構想を立てやすくしたい。	今後の取組に向けた参考とさせていただきます。
15	P. 12 取組1-3	北側の大学通りにアーケードがないのはなぜか。雨に濡れずに通行できるようになると良い。	アーケードは、商店街の皆様で設置・管理していただいているものになります。 なお、北口地区は権利者の方々と街づくりに関する勉強会を進めておりますので、頂いたご意見は、P. 13 取組2-2の【街づくり手法を活用した駅前周辺街づくりの推進】の中で、今後の取組に向けた参考とさせていただきます。
16	P. 12 取組1-4	駅前～にこわ新小岩や保育園、幼稚園などに向かう無料バスの運行や、東北広場～羽田空港、成田空港への直通バスの運行を検討してほしい。	
17	P. 12 取組1-4	新金線の開通や私学事業団総合運動場などの将来施設の利用促進に合わせた利便性向上、東南・東北エリアのアクセス向上のため、平和橋通りの東側にも改札口設置や駅舎建設が検討できないか。	今後の取組に向けた参考とさせていただきます。
18	P. 12 取組1-5	東北広場の利用促進のため、東北広場に地下駐輪場を設置してほしい。	

No.	頁／項目	ご意見・ご質問	回答・対応方針
方針2 訪れて楽しい、住んで心地よいまち			
19	P. 13 取組2-1	教育レベル向上を重点に考えた都市機能を検討してほしい。特に大学誘致を真剣に考えてもらいたい。	今後の取組に向けた参考とさせていただきます。
20	P. 13 取組2-1	ビジネスホテルの誘致も促進してもらいたい。	
21	P. 13 取組2-1	新小岩は葛飾区の中で一番駅の利用者が多いにもかかわらず、メガバンクの支店は三井住友銀行だけである。三菱UFJはなくなり、みずほ銀行もATM2台のところにも人が並んでいる。	
22	P. 13 取組2-1 取組2-2 P. 14 取組2-3	私学事業団総合運動場にスタジアムを作る話を聞いたが、それが実現するとすれば、そのスタジアムと一体となって地域が盛り上がるという考えはあるのか。また、私学事業団総合運動場の土地の取得と新金線旅客化を目指すにあたり、東北広場とその周辺のことも考え、本プランに何らかの記載が必要ではないか。	<p>サッカースタジアムは、スポーツをする・観る場としての機能だけでなく、各種のイベント等での活用など、地域の活性化や持続的成長の核としての機能も果たすことができると考えております。また、その他にも防災拠点として活用できるといった効用や、屋根を活用して太陽光発電システムを搭載するなど、環境面からも大きな効用をもたらすことが期待できます。そのため、ご意見に対して、以下のとおり項目や文章を追記いたしました。</p> <p>P. 13 取組2-1の【多様なニーズに対応する都市機能の充実】での対応 <修正案>下線部を追記 ・駅周辺においては、居住者や来街者等の様々なニーズに対応した持続可能なまちを目指すため、商店街のにぎわいと調和を図りながら、商業・業務機能の他、<u>スポーツを含む文化交流・公益施設</u>などの多様な都市機能の誘導や多様な世代の居住に対応した質の高い住宅整備を進めます。</p> <p>P. 13 取組2-2の【街づくり手法を活用した駅前周辺街づくりの推進】での対応 <修正案>以下を追記 ・駅東北のエリアについては、サッカースタジアムの構想の具体化に合わせて必要となる環境整備など街づくりと一体的に検討を進めます。</p> <p>P. 14 「取組2-3 公園等のオープンスペースの充実」での対応 <修正案>以下を追記 【スポーツ振興と多様な世代の交流の場の形成】 ・私学事業団総合運動場の敷地については、多様な世代の区民が、日ごろからスポーツに親むることができる都市計画公園として整備するとともに、将来的なサッカースタジアム整備などについて検討します。</p> <p>P. 19 「取組まとめ」の図での対応 <修正案>図に追記</p>

No.	頁／項目	ご意見・ご質問	回答・対応方針
23	P. 13 取組2-1 取組2-2 P. 14 取組2-3	亀戸にはアトレと亀戸クロックができ、JR小岩駅前も再開発が進行中であるのに対して、新小岩は快速停車駅で豊富なバス路線もあるなど利便性に優れているが、まちづくりでははるかに遅れている。これでは、よそから訪れたいまち、あるいは住みたいまちには程遠いのではないか。	今後の駅周辺の様々な取組を進める中で、今後の取組に向けた参考とさせていただきます。
24	P. 13 取組2-2	江戸川区役所が船堀に移転することで、新小岩駅南口のまちに何か変化があるのか、またこれを踏まえたまちづくりがあるのか。	江戸川区役所移転により駅周辺の人の流れが変わる可能性がございます。そのため、区役所移転後も持続的ににぎわいを新小岩で続けていけるよう、P. 13「取組2-2 駅前周辺街づくりの推進」など、駅周辺におけるさまざまな取組を進めてまいります。
25	P. 13 取組2-2	まちの魅力向上のため、南口ロータリーからルミエール商店街にかけて西側のエリアも再開発を促進してもらいたい。	南口西側エリアは権利者の方々と街づくりに関する勉強会を進めておりますので、頂いたご意見は、P. 13取組2-2の【街づくり手法を活用した駅前周辺街づくりの推進】の中で、今後の取組に向けた参考とさせていただきます。
26	P. 14 取組2-3	新小岩公園と葛飾あらかわ水辺公園については、各公園でできる遊びに特徴を作り、より有効な公園活用を考えるとともに、各公園を一体的に利用できるよう遊歩道を作れないか。また、葛飾あらかわ水辺公園は駐車場を整備してほしい。	現在、両公園とも再整備計画の検討を進めており、P. 14 取組2-3の【地域の核となる公園の再整備】の中で、今後の取組に向けた参考とさせていただきます。
27	P. 14 取組2-3	新小岩一丁目の都営平井仲町アパートの跡地はどうなるのか。何か情報があれば教えてほしい。	当敷地は東京都の土地であるため、現在は東京都内部で土地活用の検討をしており、活用意向が無いとなった場合に区へ照会がくると伺っております。東京都に対しては、地域の方からの要望として、将来的に公園用地として区が購入できないかという話があることもお伝えしております。 このため、当敷地については、P. 14 取組2-3の【地域にあるオープンスペースの活用検討】の中で、取組実現に努めてまいります。
28	P. 14 取組2-4	「快適な住環境の形成」について賛同する。	取組実現に努めてまいります。
29	P. 14 取組2-4	駅北口周辺は小規模な建物が立ち並び雑然としている。駅前周辺の景観は街の印象を左右するため、行政が営業権、私有権に介入できないとしても看板規制だけでもできたのではないか。北口に降りたら大きいパチンコ屋の看板しかない。まちづくりはまちの印象を大事にすべきだと思うので、もう少し配慮があっても良かったのではないか。 また、空き店舗の前は管理不行き届きでいつもごみと吸い殻だらけである。	北口地区は権利者の方々と街づくりに関する勉強会を進めておりますので、頂いたご意見は、P. 13取組2-2の【街づくり手法を活用した駅前周辺街づくりの推進】の中で、今後の取組に向けた参考とさせていただきます。 なお、景観については、P. 14 取組2-4の【人々が快適に感じられる景観・街並みの形成】に記載しておりますが、より明確にするために、以下のとおり取組名を修正いたしました。 P. 14「取組2-4 快適な住環境の形成」での対応 <修正案>下線部を追記 「取組2-4 快適で魅力的な住環境と景観の形成」 P. 19 「取組まとめ」の図での対応 <修正案>図に追記

No.	頁／項目	ご意見・ご質問	回答・対応方針
30	P. 14 取組2-4	取組2-4「新たなシンボルやランドマークの形成」とは、何を指すのか。私学事業団総合運動場の整備が、新たなランドマーク、シンボルの一つになることを期待する。	新たなシンボルやランドマークとは、南口の再開発事業などの建築物を想定しておりますが、ご指摘の施設についても、今後の取組に向けた参考とさせていただきます。
31	P. 14 取組2-4	私学事業団総合運動場の土地の取得と新金線旅客化を目指すにあたり、新小岩の工場で作られたトロッキ車輛など歴史的モニュメントの設置を提案したい。	今後の駅周辺の様々な取組を進める中で、今後の取組に向けた参考とさせていただきます。
方針3 防災力を高め、安心して暮らし続けることのできるまち			
32	P. 15 取組3-1	新小岩公園の再整備の図解は、洪水で大被害が起きている時にありえない絵だと思う。この絵と写真はあまりふさわしくないのでは、もう少し工夫してもらいたい。	新小岩地域で大規模水害が起きた場合は、事前に広域避難を誘導していくことが原則にはなりますが、万が一で起きた時もきちんと救援機能が確保されるような取組を進めていくという概念図として記載しております。
33	P. 15 取組3-2	松上小学校は避難所に相応しい施設となるよう、小中一貫校にしてエレベーター設置の中高層ビルにしてはどうか。また、その結果、広大な運動場の確保もできるのではないか。	今後の取組に向けた参考とさせていただきます。
方針4 一人ひとりが生き生きと輝けるまち			
34	P. 18 取組4-2	町会や地域活動への参加者減を踏まえ、ワンルームマンションばかりが増えないような仕組みづくりを考えてほしい。	町会活動等への参加促進については、P. 18「取組4-2 人や繋がりがづくりによる地域のまちづくり活動促進」の中で支援を行ってまいります。また、ワンルームタイプのマンション増加に関しては課題として認識しており、P. 14 取組2-4の【魅力ある住環境づくり】の中で、今後の取組に向けた参考とさせていただきます。
35	P. 18 取組4-2	北口駅前広場ではストリートミュージシャンが活動しやすくできないか。	今後の取組に向けた参考とさせていただきます。
36	P. 18 取組4-2 取組4-3	「かつしかフードフェスタ」は、もっと多くの方が集えるイベントとして、新小岩では入手しづらい地元野菜の即売会などを併催してはどうか。なお、駅前広場が整備されたことで、「えきひろマルシェ」が開かれており、こうしたイベントは今後もぜひ続けてほしい。また、区の広報紙や駅にポスターを貼るなどのPR活動を積極的にするなど、あらゆる手段を使って人集めをする工夫をし、こうしたイベントを通じて、無意識のうちに地域に対する愛着心が育んでもらいたい。	駅周辺のにぎわい創出に関する取組を進める中で、今後の取組に向けた参考とさせていただきます。また、情報発信及び集客等に関するご意見については、P. 18「取組4-3 まちの魅力を高める情報発信の促進」の中で、取組実現に努めてまいります。
37	P. 18 取組4-3	取組について、どの事業者（東京都/葛飾区/民間）がどのような事業を行うのが明確にしてほしい。詳細版の資料を公開してもらいたい。また、区のホームページについても、各部署事業者を横断した形でのわかりやすい情報発信をお願いしたい。	本プランは、まちづくりの中長期的な取組の方針を示すものであり、具体的な事業については、今後個別に検討していくこととなります。各取組については、P. 18「取組4-3 まちの魅力を高める情報発信の促進」の中で、皆様に分かりやすい情報発信に努めてまいります。

No.	頁／項目	ご意見・ご質問	回答・対応方針
取組まとめ			
38	P.19-20 取組 まとめ	新小岩公園と東京都の緩傾斜型堤防は一体化している事業のため、東京都の緩傾斜型堤防についても、取組まとめの図に表示した方が良い。	<p>緩傾斜型堤防整備事業（東京都）について図への表記をいたしました。なお、当事業については、P.15 取組3-1の【新小岩公園の再整備】の2点目に記載しておりましたが、図に表記するにあたり、以下のとおりタイトルとして追記いたしました。</p> <p>P.15 取組3-1の【新小岩公園の再整備】での対応 <修正案>以下を追記 【緩傾斜型堤防整備事業との連携促進】</p> <p>P.19 「取組まとめ」の図での対応 <修正案>図に追記</p>
その他			
39	-	南口駅ビルには他のまちから「わざわざ」来たくなる魅力的な店舗の誘致を期待しているが、どんなテナントが入るのか。	駅ビルのテナントについては、JR東日本の施設のため、開業は令和5年秋頃とご案内はいたっており、概ねその2、3ヶ月くらい前には具体的なテナント名等のプレス発表をすると伺っております。
40	-	方針2に「訪れて楽しい」とあるが、他のまちから人を呼び寄せる可能性のあるまちとは、新旧の地域資源が豊富なまちと考える。葛飾区には柴又の帝釈天という全国区の歴史資源、観光資源があるが、寅さんを知らない世代にも知名度を広げる手だては何か。	葛飾区には柴又の帝釈天や寅さんのほか、知名度の高い本区ゆかりのキャラクターや歴史、文化、自然などがございます。区ではこれら本区ならではの観光資源を今後も活用・発掘し、その魅力を国内外に向けて発信していくことで、区の認知度やイメージアップを図るとともに幅広い層の来訪につなげるため、取組を進めているところでございます。
41	-	各取組については複数の組織が管轄するものと思われる。それらの組織を横断した意思疎通、事業計画が行われる事を希望する。具体的には、新金線の旅客化・スタジアム構想・新小岩公園の再整備の事業を有機的に結び付けて進めて頂きたい。	各取組については、庁内及び関係機関で情報共有及び連携を図ってまいります。
42	-	森永乳業の工場が物流拠点になるというネットの記事を見たが、具体的にそういう見通しがあるのか。	森永乳業の土地については、区も取得の意向を示して協議を行ったところですが、結果的に森永乳業が他の買取希望事業者売却することを決定し、現在、物流施設として整備計画が進められています。物流施設の整備に当たっては、近隣自治町会からの要望を受けて、近隣小学校に対する安全配慮、地域への環境配慮、災害時の施設利用等について事業者へ要請し協議を進めております。今後は、検討の進捗に応じて、地域の皆様と情報共有しながら話し合いを進めてまいります。